

【報告】

第96回 全国禁煙アドバイザー育成講習会 in 広島 開催報告

【講習会】

- ◆開催日：2011年5月22日（日）
2011年5月21日（土）前夜祭「なりきりワーク」
- ◆場 所：尾道市総合福祉センター
- ◆主催：日本禁煙科学会・禁煙健康ネット（KK）広島・禁煙マラソン
- ◆共催：広島県医師会・広島県薬剤師会・広島県歯科医師会・尾三地域保健対策協議会
- ◆後援：健康日本21推進全国連絡協議会・広島県教育委員会・広島県看護協会・広島県・尾道市

【主たるプログラム】

◇午前の部

「現場で役立つ禁煙ノウハウ（1）」

- | | |
|------------------------|-------------|
| 1. サクサクわかる！！タバコの煙と健康影響 | のだ小児科 野田隆 |
| 2. 禁煙支援をマネジメントする | 禁煙マラソン 三浦秀史 |
| 3. 産業医による禁煙治療 | 村上祥子 |

「アドバンストコース」

困難が余裕に変わる 情報交換 Q&A

◇ファイザー ランチョン・セミナー

禁煙支援最新情報

日本禁煙科学会 高橋裕子

◇午後の部

「現場で役立つ禁煙ノウハウ（2）」

- | | |
|---------------------|-------------|
| 1. 女性と未成年・精神疾患の禁煙支援 | 高橋裕子 |
| 2. 若年者への地域の取り組み事例 | 尾三地域保健対策協議会 |

「薬剤師が進める禁煙支援」

- | | |
|--------------------------|--------------|
| 1. これでバージョンアップ！薬局での禁煙支援 | 和歌山県薬剤師会 原隆亮 |
| 2. 子ども向けパネルシアター「桃太郎の鬼助け」 | 岡山県・広島県薬剤師会 |

◇体験談とQ&Aタイム

尾道アドにご参加くださった皆様、会を支えてくださった皆様、おかげ様で盛会で終えることができました。参加者も医師、薬剤師、保健師、看護師、歯科衛生士行政、教員、会社役員等多彩な顔触れで色々情報交換できた有意義な会でした。

例年恒例になった前夜祭は、南は沖縄、奄美大島。東は埼玉からと遠方からの初参加や4年連続皆勤賞というリピーターも数名参加。瀬戸内の眺めとお魚料理でほろ酔いになったところで「なりきりワーク」。

今年のなりきりワークも新キャラクター出現で爆笑。私の中の薬剤師さんイメージがどんどん変化していくような。熱意ある若い保健師さんたちも皆さん役者です。「薬を試してみたいだけ」という医師にうまく対応されました。栄えある主演「支援アカデミー賞」の商品はすてきな髪留めピンと尾道みやげ。夜景を見ながらの2次会は夜が更けるのも忘れるほどでした。



なりきりワーク

そして、講習会当日。

午前の部は、基礎講座野田先生の「サクサクわかる！！タバコの煙と健康影響」。野田先生の講演は、ほんとに楽しそうにお話しされるので何度聞いても引き込まれます。

三浦先生からは、「禁煙支援をマネジメントする」今話題のピータードラッグのマネジメント、目の前のことにとらわれて大事な事を忘れがちですが、まずは目標目的をしっかりと持ち、作戦を練ることが大切ということを改めて肝に銘じました。

村上祥子産業医は、私がぜひうちに！と懇願して来ていただいた、優しい女医さん。禁煙治療を短時間でスムーズにする方法。なかなか

かやめてもらえなかったタバコ対面販売に対して「ばこ販売自粛要望書」を業者に提出してやめてもらった例などお話しいただきました。産業医の専門的意見は、企業を変える力を持っています。

ランチョン・セミナーではお弁当を食べながら童心に返って岡山県・広島県の保母さん?ではなく、薬剤師会 手作りの子ども向けパネルシアター「桃太郎の鬼助け」を楽しく見せていただきました。色んな地域でいろんなお話ができていきますね。続く禁煙支援最新情報は 高橋 裕子先生から精神科疾患の禁煙治療のお話。

午後からは東部保健所坂本保健師から地域としての喫煙対策の取り組みについて行政、医師会、薬剤師会、商工会、労働基準局、健診機関、民間企業、大学などを巻き込んだ活動。今後の保健所として飲食店等への禁煙化について働きかけ予定などの話がありました。いろんな立場の人を巻き込んでというのは行政ならではの活動です。

その後、少し時間を戴いて、児玉から地域・職域の保健職と医療の連携方法について提案をさせていただきました。会場の皆さまからとても貴重なご意見をいただいたのでさらによりよいものを作り、誰でも気軽に使用できる紹介票としてアップできるようにしたいと思います。

薬剤師分科会では、三浦・原兄弟?と野田先生で楽しいワークが繰り上げられました。

最後はQ&A。事例を交えどんな質問にも的確で丁寧な回答は、まさに立て板に水。高橋先生・三浦先生は、数日前まで東北へ10日間のボランティア活動に参加されていたとのこと。まだ疲れの取れない中、疲れを微塵も感じさせない笑顔で講演いただき頭が下がる思いです。

皆様から支援の心と元気をもらって、また頑張れそうです。どうもありがとうございました。



講習会

報告者:プレス工業株式会社 労働部 尾道診療所 児玉美登里

花便り

— 2011. 05 —

アイラトビカズラの巨大な花房

熊本県山鹿市菊鹿町の相良寺(あいらじ)に、約1000年前に中国から伝来したトビカズラなので、アイラトビカズラと名がつけられました。国指定の天然記念物です。その株を分けていただき、50年ぐらい前から栽培しています。10年ぐらい前までは5月の連休の頃に開花していましたが、年々早くなり、最近では4月に開花します。

アイラトビカズラの薬用部位は、中国の本では、根・茎葉を用いると記してあります。味は苦く、性質は温。効能は、血の流れを良くし・血を補う。リウマチ性の痛み・麻痺、四肢の麻痺、筋骨の痛みの改善に用いるとされています。煎じても酒に浸して飲んでも良いようです。(写真右)



キダチニンドウ

甘い花の香りが漂っている『キダチニンドウ』です。薬草園では管理棟の前で咲いています。最初は白い花が咲きますが、時間が経つと黄色(黄金色)にかわります。別名「金銀花」とも言われます。薬用にするスイカズラ(忍冬)は、これの仲間で、少し前に咲きました。(写真左)

(写真と文)

熊本大学薬学部 薬用資源エコフロンティアセンター准教授 矢原正治